

モチベーション

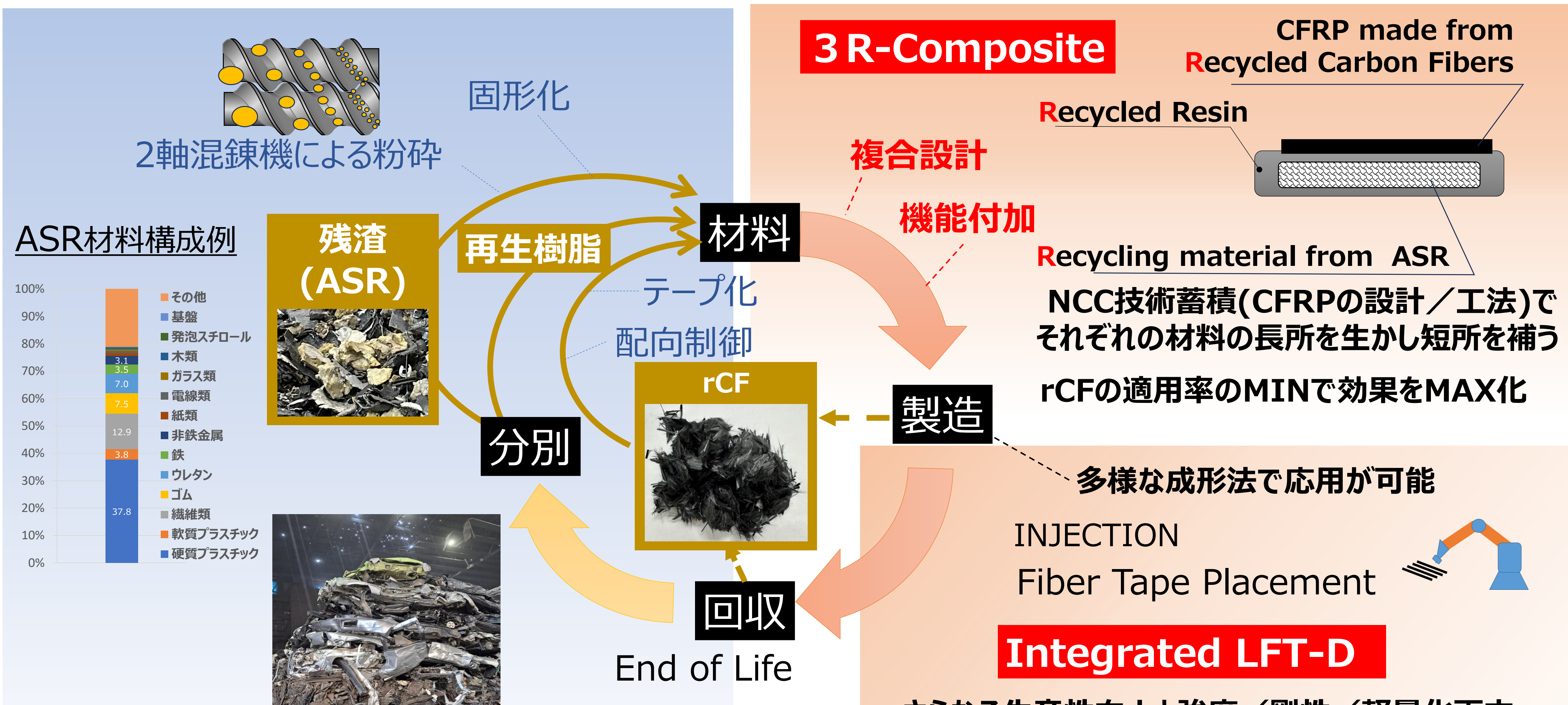
世界的に環境負荷低減の取組が加速する中、自動車材料の資源循環型への転換がより強く求められています。2023年7月にECが公表したELV（End-of-Life Vehicles）規則では、新車のプラスチックの25%をリサイクル素材とし、その内25%を廃自動車由来とする等の規制強化が提案され、廃プラ材料のリサイクル研究開発がますます進みつつあります。サーマルリサイクルに留まっている自動車破碎残渣（ASR）を含めて廃プラ材料を自動車部品に再利用するためには、材料、構造、工法、設計に及ぶシステムとしての解決技術が求められます。

研究開発コンセプト&テーマ

NCCがこれまで蓄積したコンポジット研究資産を生かすとともに、参加企業の固有技術も含めコンソーシアム体制で技術融合し、研究開発を進めています。本プロジェクトでは、①ASR再生材料②再生樹脂③低炭素なリサイクル炭素繊維(rCF)を組み合わせ、機能的に活用するため、**3 R-Composite**コンセプトを掲げて活動しています。この技術は、多様な成形法への応用が可能であり、ASRを含めた樹脂リサイクル技術の核となるものです。また、工法においても **Integrated LFT-D**としてさらなる生産性向上と構造性能／軽量化の両立を目指しております。

静脈側

動脈側



残渣（ASR）含め資源として利用し車の部品材料として活用

コンソーシアム体制

13社と名古屋大学NCC・岐阜大学GCCで展開

HONDA

JSW 日本製鋼所

KURIMOTO

MITSUBISHI MOTORS

motherson YACHIYO

日本ガスケット株式会社 大豊グループ

NISSAN MOTOR CORPORATION

SUZUKI

TOYOTO Beyond Horizons

ADEKA Add Goodness

TOYOTA

内浜化成株式会社

MITSUBISHI CHEMICAL GROUP 三菱ケミカル株式会社

National Composites Center Japan

Guコンポジット研究センター

